

【 会 議 録 】（概要）

日時：令和元年（2019 年）6 月 2 4 日（月）19:00～21:00

会議名	令和元年度(2019 年度)越谷市自治基本条例推進会議第 1 回会議	場所	中央市民会館 4 階 会議室 A ・ B
件名 議題	1 開会 2 議事 （1）越谷市自治基本条例の運用状況を確認するための指標及び報告事項について （2）子ども版パンフレット等の活用状況について （3）越谷市自治基本条例の普及・啓発について 3 その他 4 閉会		
資料等	☒ 有 無		
出席者	出席委員 横家会長、駒崎副会長、青木委員、石山委員、齋藤委員、鋪野委員、立澤委員、得上委員、土方委員、浅見委員、梅崎委員、石原委員、ペドリサ委員、関根委員（14名） 欠席委員 戸巻委員 事務局 徳沢政策担当部長、山元政策担当副部長(兼)政策課長、濱野同副課長、千代田同主幹、荒井同主事(5名) 傍聴者 なし		
内 容	別紙 会議録（要旨）のとおり		
●合意・決定事項等 ・令和元年度第2回会議の議事予定事項を、「市の施策への意見について」、「越谷市自治基本条例の普及・啓発について」及び「第5期報告書について」とすることとした。			

会議録（要旨）

1 開会あいさつ（会長）

皆さん、こんばんは。今回は、年度が変わって最初の会議となります。自治基本条例の推進に向けて有意義な協議をしていきたいと思っておりますので、よろしくお願いします。

2 議事

（１）越谷市自治基本条例の運用状況を確認するための指標及び報告事項について

- ・事務局が、【資料１】「越谷市自治基本条例の運用状況を確認するための指標及び報告事項について」及び【参考資料１】「平成２９年度推進会議の意見を受けての市の対応（平成３０年度事業実施状況）」に基づき説明を行った。

（議長）ありがとうございました。

内容が広範多岐にわたっておりますので、参加、協働、情報共有、市政運営の４つの分野に分けてご意見をいただいた後、４つの分野の前提となる包括的な指標である自治基本条例の認知についてご意見をいただきたいと思います。指標等に関する現状分析的なご意見や現状での課題、今後取り組むべき事項等に関するご意見等をいただきたいと思います。

まず、参加の分野でご意見等があればお願いします。

（Ａ委員）参加の分野、「スポーツリーダーバンク活用の割合」という指標について、割合が大幅に増加しているということでしたが、割合ではなく、派遣数やスポーツリーダーバンク登録者数の具体的な数はわかったりするのでしょうか。また、大幅に割合が増加していますので、増加した理由を教えてください。

（事務局）「スポーツリーダーバンク活用の割合」が平成３０年度に大幅に増加した理由といたしましては、派遣者数/県・市のスポーツリーダーバンク登録者数という方法で割合を算出しているのですが、県のスポーツリーダーバンクの登録者数が減少したことに伴って分母が減少し、割合が増加したということが要因となっております。

（Ｂ委員）越谷市のスポーツリーダーバンク登録者数が増加したということではないのであれば、割合よりも、派遣者数やスポーツリーダーバンク登録者数を明記すべきであると思います。

（Ｃ委員）資料１のように、越谷市の数年間の推移を見ることは非常に重要であると思いますが、他自治体との比較もするべきであると思います。近隣自治体の中で同規模なところや越谷市と状況が似ているところについては、比較してみると越谷市の状況がより見えてくるのではないかと思いますし、例えば、選挙の投票率については他自治体との比較が容易にできるのではないのでしょうか。

（事務局）指標はそれぞれの自治体によって異なっておりますので、事務局で、他自治体にも同様の指標があるか確認させていただいた上で、検討させていただきたいと思います。

（Ｄ委員）「防災訓練の参加者数」、「消防訓練の参加者数」という指標について、合計の参加者数は減っていますが、開催回数は増えているため、１回当たりの参加者数はかなり減っています。これには何か理由があるのでしょうか。

（事務局）事務局で詳細に分析しているわけではないため、恐らくではありますが、防災訓練は自治会等が中心となって実施しています。そのため、自治会の加入率が年々減少していることも１回あたりの参加者数が減少している要因の１つなのではないかと思っています。

（Ｅ委員）「越谷市議会議員選挙投票率」という指標について、資料には平成２７年４月２６日執行の選挙投票率である38.99%だけしか載っていないのですが、私が調べてきた過去の選挙投票

率を申し上げますと、平成11年4月25日の投票率が44.54%、最近行われた平成31年4月21日の投票率35.48%と年々減少傾向にあります。不在者投票など投票率向上のための様々な取組を行っているにもかかわらず下がっています。投票率を上げるためには、不在者投票などの取組を行っていることを、市民にもっと周知していくことが必要であると思います。

(議長)「越谷市議会議員選挙投票率」及び「越谷市長選挙投票率」について、この記載の仕方だと空欄が多くて比較ができず、推移も見ることができないため、工夫したほうが良いと思います。

(F委員)私は投票所の立ち会いを何度もやらせていただいています。投票に立ち会う中で、南越谷の不在者投票場所は非常に人気がありますので、選挙日当日に投票所に行って投票する人が少ないように感じました。また、越谷市は自分の住んでいるまちではありますが、仕事先は都内または別の場所という人が多く、越谷市に対する関心が薄い印象を受けました。

(議長)次に、協働の分野でご意見等があればお願いします。

(G委員)「自治会加入世帯数(加入率)」について、平成30年度の加入率は64.7%となっており、毎年のように下がってきております。私は、越谷市自治会連合会という選出母体から、この自治基本条例推進会議の委員として選出されております。自治会活動に携わるなかで、私自身が感じたこととしては、最近、レイクタウン地区を中心に、マンションや30年一括借り上げアパートがたくさん建ってきていますが、特に30年一括借り上げアパートに住んでいる人たちの加入率が非常に悪いということがあります。特に大相模地区はレイクタウンを含んでいるため、住民が増えて分母だけが大きくなってきていますが、自治会に入る住民が少ないため、加入率が上がりません。

自治会連合会で様々な加入率向上のための取組を検討したり、市長と打ち合わせをさせていただいたりして、今後、各地区で様々な取組を行っていくこととなりました。来年から3年間集中的に実施する予定ですので、取組を実施していくことによって加入率が上がっていったら良いなと考えています。まだ、どのような方法で実施していくかは決まっていませんので、それぞれの地区の責任者が各自治会長と打ち合わせをしたうえで実施していく予定です。

(H委員)自治会の加入率について、13地区ごとで割合にばらつきはあるのでしょうか。

(I委員)地区ごとで自治会加入率にばらつきがあります。桜井地区、大袋地区、荻島地区などは加入率が高く、蒲生地区、南越谷地区、越ヶ谷地区、大沢地区、大相模地区などは加入率が低くなっています。

(J委員)「消防団団員数」は、地区ごとで分けた指標となっていますが、「自治会加入世帯数(加入率)」についても、地区ごとの指標にしていただければと思います。各地区で状況や抱えている課題等も異なると思いますので、地区ごとの指標の方が、より効果的な加入率向上のための対策等も考えていけるのではないかと思います。

(K委員)自治会の加入率が年々下がっていますが、ただ加入率が低いと言っているだけではなかなか解決しないと思います。春日部市が2019年11月から自治会カード事業を始めます。自治会カードを持っていると特典やサービスを受けられるようで、現在、協力事業者を募集している状況だそうです。春日部市の自治会カード事業のような取組は、自治会に加入すると良いことがあるということを住民に周知することができ、自治会加入率の向上に効果的であると思います。

(L委員)自治会への未加入世帯数は、平成25年度の4万2,000世帯から比べると、平成30年度は約5万4,000世帯であり、約1万世帯増えています。そのため、加入率というよりは、未加入世帯数の約5万世帯にいかにして自治会に加入してもらうかが課題であると思います。また、越谷市の定住率はあまり高くないため、いかにして定住率を向上させるかも課題であると思います。

先ほど、春日部市の事例（自治会カード事業）について話がありましたが、今年6月の定例会の一般質問の中で、自治会促進に関する一般質問がありました。その中で春日部市が11月から自治会カード事業を実施していくという話は出ていました。越谷市でもぜひ、連合自治会が主導していくかたちで自治会加入率の向上を目指してほしいと思います。

（M委員）「地域レベルで実施するネットワーク会議への参加者数」という指標について、平成30年度が平成29年度に比べてかなり増えており、1,738人の参加がありました。参加者数が増えた理由としては、地域包括支援センターは各地区にだいたい1つずつくらいあるのですが、各地域包括支援センターが昨年よりも開催回数を増やすなど、努力をしたことが挙げられると思います。桜井地区でも平成29年度までは2回しか行われていませんでしたが、平成30年度は3回行われて、今までよりも多くの方が参加していました。参加してくれる人が増えたことは非常に喜ばしいことだと思います。

（N委員）「ふれあいサロン等開催回数」という指標について、担当課でどのように開催回数をカウントしているのかは把握していますか。

（事務局）ふれあいサロン以外に桜井地区で開催されているさわやか広場の開催回数を含んでいます。

（O委員）桜井地区の「高齢者を支援する会」の副会長をやっているのですが、昨年度は1つ支部が増えて、今まで4支部だったのが5支部になりました。回数も10回ぐらい増えているのですが、その回数はカウントされているのでしょうか。

（事務局）担当課に確認いたしまして次回の推進会議で報告させていただきます。

（P委員）「放課後子ども教室開催回数」という指標について、平成25年度から平成30年度まで回数が平均的で、あまり差がないように感じます。放課後子ども教室は、各地域の状況によって大分開催状況が違ってくると思いますが、越谷市の場合は、開催回数が多いのか少ないのかわかりにくいです。

（事務局）確かに、ここ数年変化がほとんどありませんので、越谷市と類似の人口規模の自治体などと比較してみると、越谷市の開催回数が多いのか少ないかについての判断基準となる可能性もありますので、他市の状況を確認させていただいたうえで、検討させていただきたいと思います。

（Q委員）放課後子ども教室のコーディネーターをやっているのですが、放課後子ども教室は、定員数が決まっていて、それ以上の参加者を募ることができない場合もあります。また、学校によっては、お休みや振替休日があったりと、様々な制限もございますので、開催回数が平均的になってしまうというのは仕方ないことなのかなとも思います。

（R委員）学校応援団についての指標を追加していただきたいです。地域の方が学校の中に入って、授業や、見守り活動なども盛んに行われております。協働分野の中に入っているのではないかと思いますので、ご検討をお願いします。

（議長）次に、情報共有の分野でご意見等があればお願いします。

（S委員）「cityメール配信件数」という指標について、災害・防犯・防災行政無線の件数が大幅に増えていますが、件数が増えるということは、単純に犯罪や災害の数が増えたということなののでしょうか。あるいは、軽微なものでも配信するようにしたから件数が増えたのかどちらなののでしょうか。

（事務局）担当課に確認いたしまして次回の推進会議で報告させていただきます。

（T委員）情報共有の分野に、CO2削減の具体的数値など、環境の指標を入れていただきたいと思います。

（議長）次に、市政運営の分野でご意見等があればお願いします。

（U委員）「健全化判断比率」という指標について、補足資料をつけていただいたということなのですが、補足資料の解説を読んでも、なかなか一般の市民の方は理解しにくいのかなと思います。この指標自体は、残しておいても良いと思いますが、税の収納率や国民健康保険料の収納率

など、わかりやすい数値を追加していただけると、健全化判断比率とは若干性格も違うかもしれませんが、越谷市の財政状況をざっくりとではありますが、判断ができる材料にもなるのかなと思いますので、検討していただければと思います。

(V委員)「消防団団員数」という指標について、私の住んでいる蒲生地区でも消防団員の募集をかけていますが、昨今自営業が非常に少なくなった関係もあり、団員が集まりません。昔は、多くの自営業の方々に消防団に入っていたいたり、あとは農業に携わっている人たちも多くいらっしやったため、自分たちが越谷のまちを守るというかたちで、火事があった場合は皆さんが協力して炊き出しをしてくれたり、近所の方々も協力してくれていました。しかし、昨今状況が変わってしまいましたので、なかなか消防団員が集まらない状況です。

(議長)最後に、包括指標である自治基本条例の認知でご意見等があればお願いします。

(W委員)自治基本条例の認知は、平成30年度が27.4%で、3割弱が条例を知っているという見方もできますが、裏を返せば、条例を知らない人が約7割いるということでもあります。自治基本条例を認知してもらうためには、3割の人が知っているという見方をするよりも、7割の人が知らないということをしっかりと認識し、どうしていけばよいかを考えていく方がよいのではないかと思います。

(2) 子ども版パンフレット等の活用状況について

・事務局が、【資料2】「平成30年度 子ども版パンフレットの活用状況について」に基づき報告を行った。

(議長)ありがとうございました。

それでは、子ども版パンフレット等の活用状況について、ご意見、ご質問等がありましたらお願いします。

(X委員)子ども版パンフレットは、どれくらいの時期に各小学校へ配付しているのでしょうか。

(事務局)例年11月頃に、各小学校に子ども版パンフレットや条文、条例の手引きなど配付して、授業で活用していただいています。

(Y委員)もう少し早く配付できるのであれば、早めに配付した方がよいと思います。

(Z委員)資料2の各小学校の活用時間を比較すると、時間が最も短い学校が15分、最も長い学校が3時間と学校によってばらつきがあります。

また、子ども版パンフレットを活用した授業を行う前に、小学校の先生を対象とした講習会を開催し、授業で説明するときのポイントなどをレクチャーするとよいと思います。教育委員会がもう少し関与して、活用時間のばらつきや授業の行い方等を平均化していくことが必要であると思います。

(a委員)複数のクラスがある小学校は、どのように活用時間を算出したのでしょうか。全クラス同じ時間数で授業を行っていたのか、それとも全クラスの合計時間や平均時間が記載されているのか、算出方法を教えていただきたいです。

また、この資料2の一覧表は、各小学校にフィードバックしているのでしょうか。していないのであれば、是非フィードバックしていただきたいと思います。

(事務局)活用時間は、小学校ごとに、クラスの平均で算出しています。今回の会議で、学校によって活用時間にばらつきがあることや、パンフレット配付の時期を早めることなど、委員の皆様からご意見をいただきましたが、事務局といたしましても、より多くの子どもたちに自治基本条例を知り、理解してもらえよう、授業の実施の仕方や、アンケートの内容等、各小学校を管轄しております指導課と調整を行っているところでございます。

(3) 越谷市自治基本条例の普及・啓発について

・事務局が、【資料3】「越谷市自治基本条例の普及・啓発の取組について」に基づき説明を行った。

(議長) ありがとうございます。

それでは、越谷市自治基本条例の普及・啓発についてご意見、ご質問等がありましたらお願いします。

(b委員) 資料3の4ページに、市民、市議会と市長等のイラストがありますが、イラストの市長は男性で歳をとっているように見えます。女性や若い人のイラストでもよいのではないかと思います。

(c委員) 資料3の広報こしがや季刊版や自治基本条例施行10周年記念パネルの(案)は、誰がつくったものなのでしょうか。

(事務局) 資料3の広報こしがや季刊版や自治基本条例施行10周年記念パネルの案は、事務局が作成しました。足りない部分もあるかと思うので、今回の会議で委員の皆様から意見をいただき、その意見を参考にさせていただいたうえで、広報紙への掲載やパネルの作成をしていきたいと思っています。なお、広報こしがや季刊版の締切が、7月19日になっていますので、その日を目安にご意見いただければと思います。資料の量も多く、今回の会議という短い時間の中で、皆さんご理解いただき、ご意見をいただくのはなかなか難しいと思いますので、ゆっくり見ていただいた上で、後日、ご意見をいただくという形でも差し支えありませんので、是非事務局まで、メール等でご意見いただければと思います。

(d委員) 前回の会議では、講演会は開催しないことになっていたと思いますが、どのような経緯で10月4日の講演会の開催が決まったのでしょうか。

(事務局) 講演会を開催する予定はないということになっていましたが、今年度に入り、再度庁内で検討した結果、市民の皆様幅広く知っていただくためには、講演会を開催した方がよいということになりました。委員の皆様へのご報告が遅れ、このような形でお知らせすることになってしまい大変申し訳ございませんでした。

また、講演会の日程も、委員の皆様のご都合を聞かずに事務局で決めさせていただいたこと、大変心苦しく思っておりますが、自治基本条例の認知度が低いという現状の中、多くの市民の方に自治基本条例を知っていただくために、事務局としても努力していきたいと思いますので、ご了承いただきたいと思います。

(e委員) 講演会を開催すること自体は、私としては大歓迎ですが、前回の会議でのお話と違うなと思ったものですから、意見を述べさせていただきました。

(f委員) 「越谷市自治基本条例施行10周年記念」の冠について、ななサポまつりというイベントが市民活動支援センターで開催予定なのですが、市民活動支援センターでは、このイベントに冠をつけることは考えていないようでした。そのため、私が意見を述べさせていただきました。また、協働フェスタもつけない予定でしたが、同じ経緯で冠をつけることになりました。市民活動支援課が「越谷市自治基本条例施行10周年記念」の冠についてよくわかっていなかったようですので、市がもう少し周知をしていただけたらと思います。

(事務局) 庁内連絡会議において、「越谷市自治基本条例施行10周年記念」の冠について全課に説明し、冠をつけられる事業があれば、積極的に冠をつけてもらえるよう周知は行っております。それぞれの課の受け取り方の違いがあったり、多少課によって冠をつける事業数にばらつきはあるような状況ですが、まだ期間もありますので、継続して周知を行っていき、多くの事業に冠をつけていただくようにこちらから促していきたいと思っています。

(g 委員)「越谷市自治基本条例施行 10 周年記念」の冠を多くの事業につけてもらうためには、各課の判断に任せるのではなく、全庁会議などの場で、市長が先頭に立って、冠をつけてもらえるよう強いリーダーシップを発揮していかなければならないと思います。

●合意・決定事項等

- ・令和元年度第 2 回会議の議事予定事項を、「市の施策への意見について」、「越谷市自治基本条例の普及・啓発について」及び「第 5 期報告書について」とすることとした。

3 その他

- ・事務局が、次回の日程等について説明した。

※令和元年度第 2 回会議を令和元年(2019 年)8 月 28 日(水)の午後 7 時 00 分から開催することとした。

※令和元年度第 2 回会議の議事予定事項、広報こしがや季刊版及び自治基本条例施行 10 周年記念パネルについて 7 月 8 日(月)までにメーリングリスト等を活用して事務局に意見を提出することとした。

4 閉会(副会長)

皆様、お疲れ様でした。本日は、非常に活発な意見交換ができたのではないかと考えております。これから、また委員の皆さんと一緒に意見を出し合いながら、自治基本条例の推進を図っていければと思います。本日はありがとうございました。